

【学校教育目標】	【本年度の重点目標】
確かな学力と豊かな心を持ち、地域を愛するたくましい生徒の育成	○魅力ある学校づくり(不登校生2名以下)

領域	項目	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策	
学習指導	授業内容の改善	めあてとまとめのある授業展開ができているか <結果> 研究授業の影響もあり、前期の結果より0.4ポイント上昇。生徒が見通しをもって授業に臨めるように工夫した。	3.0	生徒の考えを大切に「まとめ」の工夫をすることが大切だと思います。	学びはじめと学び終わりの考えを書かせ、学びの変容が見えるようなフォーマットを活用する。
		基礎・基本の定着を図る取り組みを行ったか <結果> 昨年度の結果より0.1ポイント上昇し、取組は定着しているが、生徒の学力の伸びに繋がっていない面がある。	3.4	基礎・基本の学力を身に付けさせるために、計画的に反復学習を実施する必要があると思います。	朝のモジュール学習や授業の導入段階で基礎・基本の定着を目指す反復学習を計画的に実施する。
学習指導	学習指導	生徒の考えを書く活動場面を設けたか <結果> 研究授業の影響もあり、ワークシートの活用等で生徒の「書く活動」が前期の結果より0.5ポイント上昇した。	2.7	3年間の研究の成果を今後も継続して頂きたいと思います。	単元や授業形態に即して、どの「思考ツール」を活用するのか、ワークシートの改善も含めて研究を継続し、生徒の「書く活動」の充実を図る必要がある。
		自分や他人の意見を交流する場面を設けたか <結果> ワークシート等にした自分の考えをグループで交流する時間を設定できるようになった。	2.7	3年間の研究の成果を今後も継続して頂きたいと思います。	交流することで得られる、新たな知識や考えを「まとめ」や「ふりかえり」につなげられるようにワークシートを工夫する必要がある。
学習指導	家庭学習の習慣化	各教科で課題(特に週末)を与えることができたか。 <結果> 昨年度より0.1ポイント上昇。5教科を中心に課題を与えているが、家庭でしっかりと取り組み、提出率を上げるのが課題である。	3.0	ただ課題を与えるだけでなく、生徒が興味や意欲を持つような取組を行うことも必要だと思います。	個に応じた課題、基礎・基本の定着を図るための課題を作成する。また、週末課題と月曜日のモジュール学習を関連させ、ミニテストを実施するなど、取組の工夫を図る。
		家庭学習の定着に積極的な指導を行ったか。 <結果> 昨年度より0.2ポイント減少している。家庭学習状況調査の結果からも嘉麻市が挙げている数値目標よりも低く、本校の大きな課題の一つである。	2.7	家庭での生活のきまり、学習のきまりを保護者と生徒で検討していくと良いのではないのでしょうか。	家庭訪問、個人懇談、通信等で家庭学習の啓発を行うとともに、家庭学習週間や携帯・スマートフォン利用時間削減週間といった取組を実施する。
	総合所見	授業づくりに関しては、「かく活動」「話し合う活動」を展開の中で取り入れるように各自教材研究を進めていき、山中の授業スタイルを確立することができた。今後も、生徒が主体的に授業に取り組めるよう授業研究を推進していく必要がある。家庭学習の習慣化については、生徒が意欲的に取り組めるように「しかけ」を工夫すると共に、家庭学習の定着に向けて保護者からの働きかけが行なわれるように、学校通信や面談等で啓発していく。			

生徒指導	落ち着いた学校づくり	全教師で清掃指導にあたることができたか 〈結果〉 生徒アンケートでは、前期が3.75 後期が3.1と減少している。生徒の内面的な指導が必要であると考えます。	3.4	掃除時間内しっかりと掃除ができるようになると良いと思います。	掃除の必要性について、道徳や学活で生徒の内面性に働きかけるとともに、生徒会活動の取組として、環境美化運動を実施する。
	いじめのない学級や人間関係づくりの取組を行ったか。 〈結果〉 昨年度と同じ評価である。生徒アンケートでは昨年度より0.1ポイント上昇しており、教師の支援が効果的に働いている。	3.2	子どもの様子を把握し、特に気になる生徒を見守るような体制づくりをお願いします。	道徳や学活の取組を強化し、望ましい人間関係や人権感覚の構築に努める必要がある。また、生徒指導委員会において気になる生徒の実態を把握し、生徒を見守る体制を強化する。	
生徒指導	生活習慣の改善を図る生徒指導	不登校傾向にある生徒への支援をおこなったか 〈結果〉 昨年度より0.1ポイント減少している。不登校生も増加しており、不登校解消も本校の大きな課題となった。 他機関と連携して不登校解消に取り組めたか 〈結果〉 様々な機関と連携や話し合いの場を定例で行ってきたが、全体として状況の改善には至っていない。	3.2	長期欠席生徒も含めて、生徒が登校できるような魅力ある学校づくりをお願いします。	授業や部活動、友達との交流など生徒が「学校が楽しい」と思えるような教育活動を展開するとともに、マンツーマン方式の理念のもと、チームで欠席が増えている生徒に対応する。
	総合所見	本年度は、1・2年生で不登校生が増加したことから、本校の最重要課題と捉え、これまでの取組を見直し、改善していく必要がある。PA活動を計画的に取り組みながら人間関係の改善に努めるとともに、生徒が「授業が楽しい」と感じられるような授業づくりも必要だと考える。			
	校内研修の充実	学校の課題に応じた全体研修を行うことができたか。 〈結果〉 昨年度と同じ評価であるが、研究発表、道徳科の実施に向けて研修を行った。 全教師が年1回の授業研究に取り組めたか。 〈結果〉 研究発表の影響もあり、前期の結果より1.1ポイント上昇した。	3.2	新たな課題に向けた研修をお願いします。	「特別の教科 道徳」の実施に向けて、授業・評価の在り方について研究を進め、生徒の道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度を育てていく必要がある。
職員研修	校外研修の参加	センター研等へ積極的に参加することができたか。 〈結果〉 全教師が県教育センターを中心に研修に参加することができた。	2.6	多くの先生が授業づくりに取り組んでいることは素晴らしいことだと思います。	3年間研修を重ね確立した「授業のグランドデザイン」を基本としながら、授業改善に取り組む必要がある。また、授業アンケートの結果から見えた課題に向けて教科部会等で改善策を検討していく。
	総合所見	嘉麻市の研究指定校の3年目であり、研究主題に沿って授業づくりに取り組めたことは、教職員の財産になったと考える。今後は、研究発表の為の授業づくりではなく、山中の授業スタイルを継続できるように引き続き取り組んでいく必要がある。また、今後の予定としては、31年度から実施される「特別の教科 道徳」に関して授業づくりを研究していくように考えている。			
			2.9	特になし。	研修した内容によっては、職員に還元していく必要がある。